

主要損害保険会社の令和5年9月期決算の概要

1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内事業では火災保険における料率改定前（令和4年10月）の契約増加の反動で減少したものの、海外保険事業の好調に円安が重なったこと等により、前年同期に比べ増収。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、海外事業を中心に、資産運用損益の増加や新型コロナウイルス感染症に関する損失の減少等により、前年同期に比べ増益。

（単位：億円）

	令和3年9月期	令和4年9月期	令和5年9月期	前年同期比
正味収入保険料	55,506	64,793	68,094	3,300
経常利益	7,396	574	5,884	5,309
特別損益	▲ 117	35	▲ 163	▲ 198
親会社株主に帰属する中間純利益	5,248	196	4,240	4,044

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、株価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前年度末に比べ14.4%ポイント上昇。

（単位：%）

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和5年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	764.0	742.7	757.1	14.4Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。なお、国際財務報告基準（IFRS）を適用している海外連結子会社等において、IFRS第17号「保険契約」を令和5年9月期の期首から適用。令和4年9月期については遡及適用後の数値。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。